

通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレート コンシューマー株式ファンドⅡ

通貨セレクト・コース（毎月分配型）

選定通貨の入れ替えについて

2022年3月4日

当ファンドの選定通貨（※）の入れ替えについてお知らせいたします。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

選定通貨と選定方針

原則として、以下の指数の構成国の通貨の中から、6つの通貨を選定します。

- FTSE世界国債インデックス
- JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット ブロード
- 6つの通貨は、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮して選定
- 選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定

※選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

※選定の対象となる通貨以外の通貨を選定する場合もあります。また、選定通貨が6通貨とならない場合もあります。

※以下、「取引対象通貨」ということがあります。

選定通貨と選定通貨の投資比率

2022年2月24日（現地）のロシアによるウクライナ侵攻以降、ロシア・ルーブルの下落圧力は強まり、流動性が著しく低下しています。また、欧米からの経済制裁の強化により、今後ロシア・ルーブルの取引が一段と困難になる可能性が高まっています。こうした市場環境を鑑み、通貨セレクトコースの選定通貨からロシア・ルーブルを除外しました。最終的に、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案した結果、ロシア・ルーブル、チェコ・コルナからチリ・ペソ、コロンビア・ペソへ通貨の入れ替えを行いました。

<変更前>		<変更後>	
選定通貨	投資比率	選定通貨	投資比率
ロシア・ルーブル	18.8%	ブラジル・レアル	20.4%
ブラジル・レアル	18.7%	メキシコ・ペソ	17.2%
メキシコ・ペソ	16.3%	インド・ルピー	16.0%
インド・ルピー	16.3%	チリ・ペソ	15.6%
ルーマニア・レイ	15.0%	コロンビア・ペソ	15.6%
チェコ・コルナ	14.9%	ルーマニア・レイ	15.2%

※上記の選定通貨の投資比率は、実際の取引対象通貨の比率とは異なる場合があります。

当ファンドにおいては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー（利息収入）収益が享受できる通貨で運用を行う方針です。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

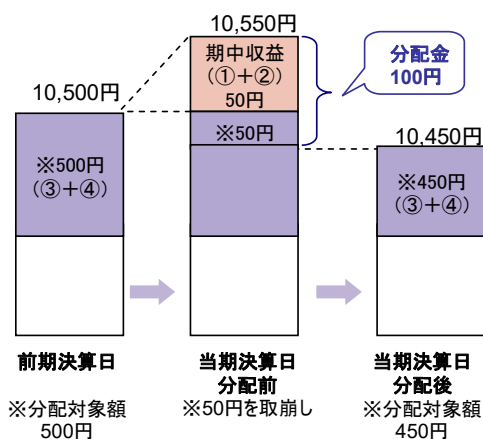
投資信託で分配金が支払われるイメージ



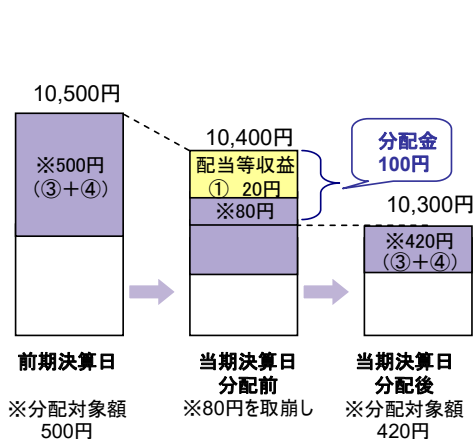
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



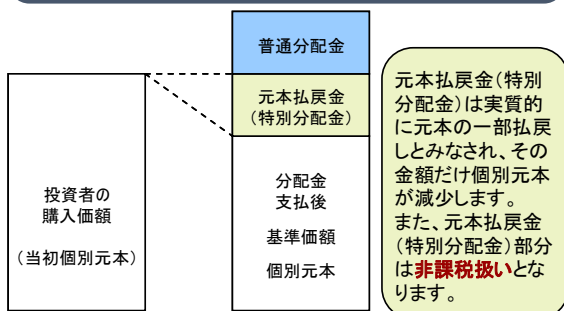
前期決算日から基準価額が下落した場合



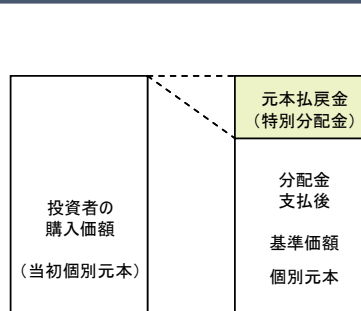
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

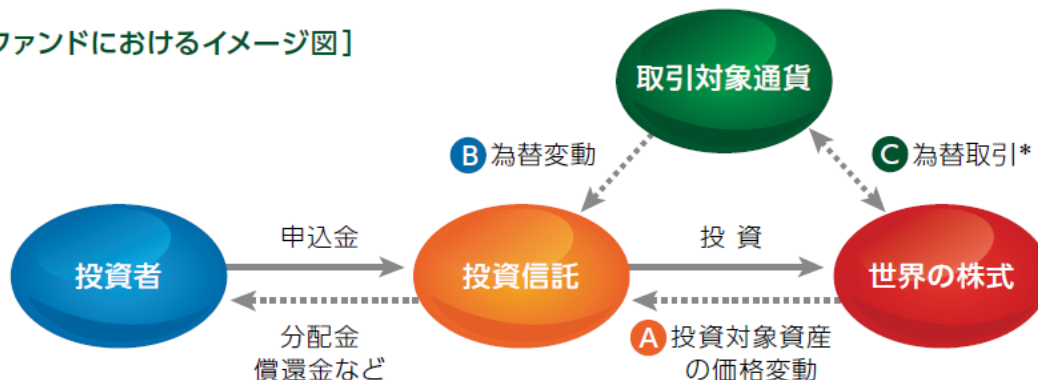
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の（特別分配金）額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

通貨選択型ファンドの収益のイメージ

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるよう設計された投資信託です。

【当ファンドにおけるイメージ図】



*取引対象通貨が円以外の場合には、当該取引対象通貨の対円での為替リスクが発生することに留意が必要です。

- 当ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

	A	B	(注) C
収益の源泉	世界の株式の配当、 値上がり/値下がり	為替差益/差損	為替取引による プレミアム/コスト (金利差相当分の収益/費用)
収益を得られる ケース	 株価の上昇、配当収入	 為替差益の発生	 プレミアム (金利差相当分の収益) の発生
損失や コストが発生する ケース	 株価の下落 ・発行企業の経営不安、 倒産等	 為替差損の発生 ・円に対して取引対象 通貨安	 コスト (金利差相当分の費用) の発生 取引対象 原資産 通貨の > 通貨の 短期金利 短期金利

(注) 為替取引を行なう際にNDF取引を利用することがあります。

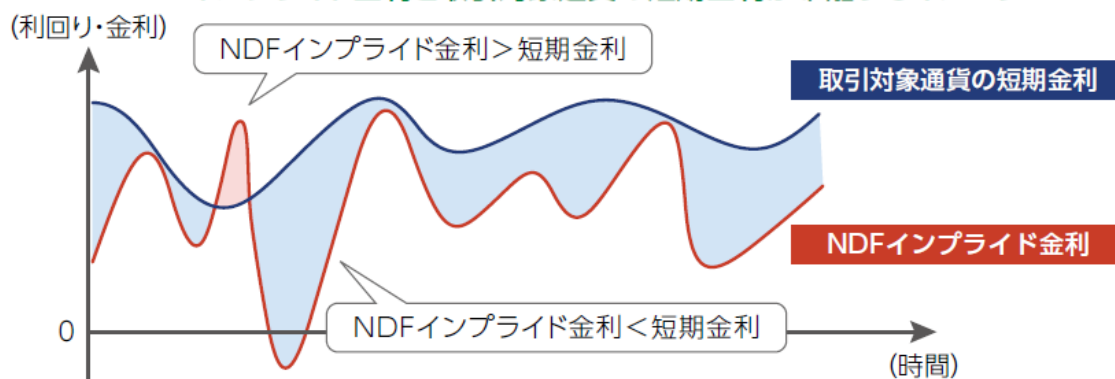
NDF取引を用いて為替取引を行なう際、為替取引によるプレミアム/コスト(金利差相当分の収益/費用)は、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※上記はイメージであり、実際の投資成果を示唆、保証するものではありません。

NDF取引とは

- 取引対象通貨を用いた受け渡しは行わず、米ドル等の主要通貨による差金決済を相対で行なう取引です。
- NDF取引価格から算出される“NDFインプライド金利”は、市場の流動性が低く、割高や割安を是正する動き(裁定)が働きにくいことから、市場参加者の期待や需給などの要因により、**取引対象通貨の短期金利の水準から大きく乖離する場合があります。**

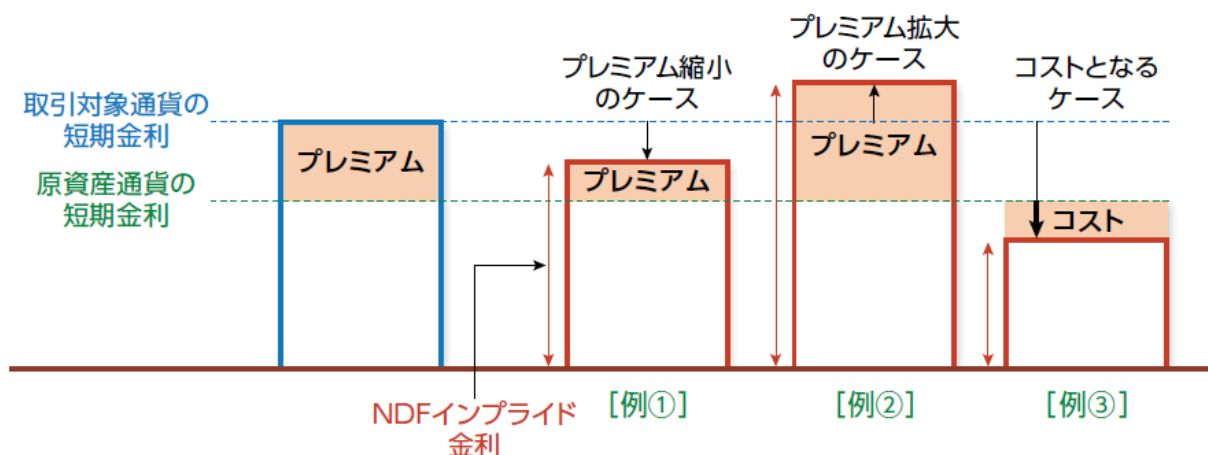
NDFインプライド金利と取引対象通貨の短期金利が乖離するイメージ



※上記はイメージであり、当ファンドのパフォーマンスとは異なります。

NDFインプライド金利の変動の影響

- 市場参加者の通貨上昇(下落)期待や需給などにより、NDFインプライド金利は低く(高く)なる可能性があります。NDFインプライド金利が取引対象通貨の短期金利より低く(高く)なると、**為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)**が縮小【例①】(拡大【例②】)し、場合によっては**為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)**となるケース【例③】もあります。



※上記はイメージであり、実際のプレミアム/コストとは異なります。

※上記は投資成果を示唆、保証するものではありません。

Ⅰ ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける企業の株式の値上がり益を追求するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 新興国消費市場の拡大から恩恵を受ける世界の企業の株式を厳選して投資します。
2. 株式の運用は、ミレーアセット・グローバル・インベストメンツ（米国）エルエルシーが行ないます。
3. 為替取引を活用します。
 - 当ファンドには次の3つのコースがあり、原資産通貨売り／対象通貨買いの為替取引を行ないます。
 - ※原資産通貨とは、保有資産の表示通貨をいいます。
 - ※一部の通貨について、為替取引の手段がない、あるいは、取引コストが過大と判断される際には、為替取引を行わない場合があります。

コース名	為替取引の内容	取引対象通貨
豪ドル・コース	原資産通貨売り／豪ドル買い	豪ドル
ブラジル・リアル・コース	原資産通貨売り／ブラジル・リアル買い	ブラジル・リアル
通貨セレクト・コース	原資産通貨売り／選定通貨買い	選定通貨

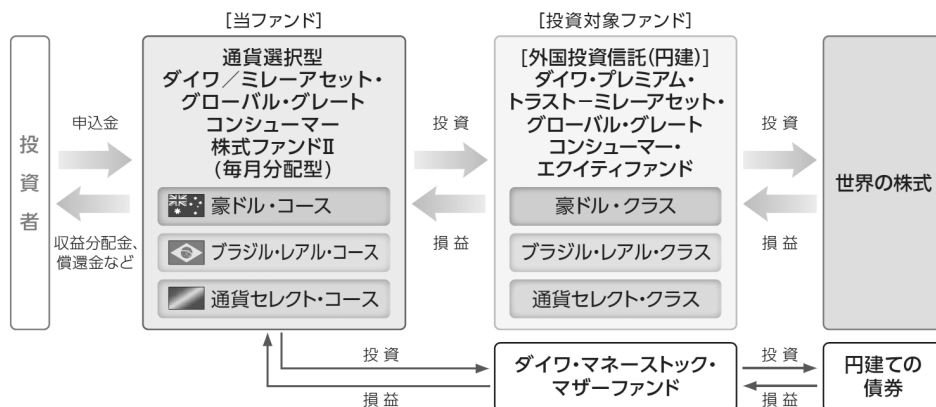
◆3つのコースの間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。

- 各コースでは、保有資産について為替取引を行ないます。これにより、「為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）／コスト（金利差相当分の費用）」が生じます。
- 各コースでは、為替取引の対象通貨の対円レートの上昇（円安）／下落（円高）により、為替差益／為替差損が生じます。
- 「通貨セレクト・コース」において、選定通貨とは、以下の〔通貨の運用方針〕により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

〔通貨の運用方針〕

- 原則として、「FTSE 世界国債インデックス」および「JPMオルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケットズ ブロード」の構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。
 - ※上記指数構成国の通貨以外の通貨を選定する場合があります。
- 選定通貨の投資比率は、金利水準、リスク水準等を考慮して決定します。
- 選定通貨および投資比率は、原則、毎月見直します。

4. 毎月19日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
5. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
 - 外国投資信託の受益証券を通じて、世界の株式に投資し、保有資産について為替取引を行ないます。



- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
 - 通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ
豪ドル・コース（毎月分配型）：豪ドル・コース
 - 通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ
ブラジル・リアル・コース（毎月分配型）：ブラジル・リアル・コース
 - 通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ
通貨セレクト・コース（毎月分配型）：通貨セレクト・コース
- ◆各ファンドの総称を「通貨選択型ダイワ/ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※取引対象通貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。取引対象通貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。特に、新興国通貨の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国通貨と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。

※為替取引を活用して、取引対象通貨で実質的な運用を行なうことをめざしますが、投資対象資産の通貨である原資産通貨の為替変動リスクを完全に排除することはできません。また、一部の通貨について、為替取引を行わない場合があるため、原資産通貨の為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※取引対象通貨の金利が原資産通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※NDF 取引を用いて為替取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLC は、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLC は、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利は FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

Ⅰ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 3.3% (税抜 3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対応です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.298% (税抜 1.18%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	「豪ドル・コース」、 「ブラジル・リアル・コース」 年率 0.715%程度 「通貨セレクト・コース」 年率 0.835%程度 この他に「ダイワ・プレミアム・トラスト・ミレーアセット・グローバル・グレートコンシューマー・エクイティファンド」において、固定報酬として年額 12,500 米ドルがかかります。	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	「豪ドル・コース」、「ブラジル・リアル・コース」 年率 2.013% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。) 「通貨セレクト・コース」 年率 2.133% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

大和証券

Daiwa Securities

〈販売会社〉

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本STO協会

設定・運用:

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

加入協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。